

ことぶきだい

公民館報

優しく思いやり 明るく楽しい町 寿台

平成26年11月1日現在の寿台	
総世帯数	1,547世帯
総人口	3,363人
男	1,615人
女	1,748人

松本市寿台公民館
〒399-0021
松本市寿豊丘649-1
TEL. (0263)58-6561
FAX. (0263)86-7964

第38回

寿台文化祭



10月26日(日)に、第38回寿台文化祭が行われました。約660人もの方が来場され、ステージ発表・展示発表・模擬店にと一日を楽しみました。



● 中学生が大活躍

支部生徒会の役員が中心となり、有志と言えど30名あまりの生徒を集め手作りのお面を付け、ダンスでオープニングを飾ってくれました。会場中の子どもからお年寄りまで、手拍子をし、中には一緒に踊る姿も見られ、大盛り上がりスタートとなりました。その後、ステージ発表では、漫才で会場を笑いの渦に(笑)。



チーム Youkai です。ウィッツ!

午後3部では、3年2組が素敵な歌声を響かせてくれ、退場の時には、観客だけだけでなく、模擬店を行う方々の一段と大きな

拍手と「ありがどう」の声に、うつむきながら顔を赤らめていたのが印象的でした。そして育成会の協力のもと実現した中学生待望のチョコバナナの模擬店。手作り看板や、中学生の元気な声で見事完売していました。文化祭終了後の片付けにも力を発揮してくれ、一日を通じ、寿台の中学生の素晴らしさをあらためて感じました。

チョコバナナをどうぞ



● ステージ発表

今年も寿台の中学生有志によるオープニングダンスを皮切りに、舞踊・合唱・劇など多彩な内容でした。初出演となる個人・団体の出演者もあり、25にも及ぶ演目が発表されました。

おとりは松本美須々ヶ丘高校吹奏楽部による演奏と歌。「ドリフ大爆笑のテーマ」から始まり、誰もが口ずさむ曲の「村祭り・もみじ」などが続きました。その間にも各楽器の紹介や、観客の方とのデュエットで「いつでも夢を」を熱唱するなど会場を盛り上げました。最後は昔懐かしい



わたあめ、落ちないでね

育成会・中学生の皆さん、一日ご苦労さまでした。

● 展示発表・模擬店

会場を展示作品が色とりどりに飾り、その販売や来場者の楽しみである飲食関係の模擬店も、大盛況でした。



「ヤングマン」すばらしい、YMCA〜

今年この目玉は子ども会育成会と中学生。中学生は育成会の協力を得て初出店です。朝7時からふれあいセンターで「チョコバナナ」の調理をしたそうです。

● 参加者の紹介

吾亦紅短歌教室

九丁目 片野 玲子

寿台文化祭には当初から出展を続けております。

現在は小澤婦貴子先生の指導を受け、8名の会員と短歌を詠み楽しんでいきます。会員も年齢を重ね若い人達とも詠みたいなあとこの頃です。入会当初に、毎日記をつけるように詠めばよいと教えられ、今でも見たままを詠んでいます。長年続けられるのも、これかな?と思います。

カレンダー
一枚捲れば霜月と
特急列車のごとし
日々が過ぎゆく

藤翠流 吟と舞会晤翠会

四丁目 高宮 晴翠

能を基本とした吟剣詩舞の古典舞踏を学んでおりますが、仲間作りを大切にしています。寿台文化祭の参加も今年で7回目となりました。

主な活動としては、ポラントピアでデイサービス、老人ホーム、敬老会などに出向いています。また、Mウイング、レザンホール、アクトホールなどの発表会もあり、日々勉強に励んでおります。興味のある方はぜひ見学におかけください。

第41回 寿台住民大運動会

9月28日(日)に第41回寿台住民大運動会が開催され、暑い位の秋晴れの中、約500人の方々が汗を流されました。

多くの方々に気軽に参加いただくとう、役員で知恵を絞り新たにオープン種目を取り入れました。色々と不手際もあつたかと思いますが、多くの笑顔が見られました。

また、毎年中学生係員を募集しお手伝いいただいておりますが、今年は何と53人も中学生が協力してくれました。競技種目の用意から、終了後の片付けまで、今では欠かせない寿台の力です。



皆さん、一日ご苦労様でした。中学生の皆さん、一日ご苦労様でした。中学生の皆さん、一日ご苦労様でした。

◇総合順位◇

順位	町会名
1位	二丁目
2位	四丁目
3位	五丁目

寿台体育協会事務局

一日になるも、楽しい一日になるよう努力したいと思います。

大人のまじり...

「明善学区子ども銭太鼓」発表会

10月2日、秋晴れの穏やかな午後「子ども銭太鼓」のお披露目発表会が寿台福祉ひろばにて開催されました。

当日は、結成2年目の「寿台銭太鼓・華音」のメンバーと今年7月から教室を結成し練習を積んできた明善学区の子ども達の共演です。

始まりは、昨年、ひろばで体験をした女の子が興味を持ち、児童館へ遊びに来ている子ども達も誘い、ひろばの教室に参加したことです。今では常時10人の子も達が練習しています。

習をしながら、始めの頃、「華音」の方々は子ども達の集中力と長時間の正座が出来るかを心配したのですが、今日の発表会では緊張の中にも山内コーチの「笑顔で・笑顔で」のかけ声で『サザエさん』とトトロの『散歩』の2曲を楽しそうに立派に演奏し、観客の大きな拍手をいただいて子ども達も笑顔満開でした。



教室で真剣に練習中

のおさらいを熱心に行っており、「これから文化祭に向けていっそう練習に力が入ります」と子ども大好きな山内コーチが話してくださいました。



終了後は、笑顔満開!

防災訓練と講座開催

10月19日、「震度7の地震発生」との想定のもと、寿台地区防災訓練が実施されました。前半は町会ごと一時集合同場所集合し、安否確認や防災器具の説明などを行いました。後半は寿台体育館に移動しての全体訓練でした。



町会ごとの訓練後に、体育館にての全体訓練。AED(自動体外式除動器)講習は消防署の緊急出動のため中



炊き出し訓練をする日赤

止になり、炊き出しのすいとんを頂き、散会となりました。参加者からは「他人事と思わないで、本番を想定してもっと訓練に参加してほしい」「寿台は高齢化しているが、この方たちに安全に避難してもらうことが大切」「AED講習がなくて残念」などの感想が出されました。

続いて10月30日には寿台公民館において防災講座が開催され、「大災害から学ぶこと」と題し、松本市ボランティア

寿台公民館長 野村 芙美



おなじみのボランティアセンター中村ひとみさん

センター中村ひとみさんの講演がありました。中村さんは東北支援活動などの体験から、「くり返しの訓練」「いざというときどうするか考えておく」「想定にとらわれない行動」が大切であり、「何よりも大切な命を守りましょう」と話されました。大きな地震など、何時なんどき寿台が災害に見舞われるかもしれない。日ごろから防災意識を高め、いざというときに備えたいものです。

二丁目 戸田 道雄

寿台のいきいき生活

陽だまりの公園

三丁目 大崎 恵

寿台西緑地という広い公園があります。お天気のいい日には保育園の園児たちが遠足に訪れ、元気な声が飛び交います。シートを敷きお弁当を食べている姿を見ると微笑ましくなります。

道で顔を合わせると皆笑顔で挨拶を交わし、子ども達も元気いっぱい遊んでいます。三丁目は新しい住宅の建設が始まります。これから人が増え、益々にぎやかになるでしょう。

人材の多彩さ

八丁目 栗山 良子

「発展の鍵は人で決まる」といいます。「人」という視点で見るとき、町会を越えて地区全体に行きます。40年間、文化祭や運動会が続いていることは、住民の中に教育・文化・芸術等の一流人がいるためだと思います。

また、寿台の発展に尽力された先輩方が、高齢の今でも、若い人に負けない活躍をされていることに、人材の多彩さを感じます。寿台の飛躍のためにも、良き人が集まることを願わずにいられます。